



2024年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年12月13日
東

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社 上場取引所
 コード番号 3121 URL <https://www.mbkworld.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 高崎 正年
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 山崎 佳奈子 (TEL) 03-6434-5540
 定時株主総会開催予定日 2025年1月30日 配当支払開始予定日 2025年1月31日
 有価証券報告書提出予定日 2025年1月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期の連結業績(2023年11月1日~2024年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	4,446	—	326	—	99	—	182	—
2023年10月期	1,538	—	△13	—	△84	—	98	—

(注) 包括利益 2024年10月期 182百万円(—%) 2023年10月期 97百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	6.23	—	4.4	0.7	7.3
2023年10月期	3.37	—	2.5	△0.7	△0.9

(参考) 持分法投資損益 2024年10月期 ー百万円 2023年10月期 ー百万円

- (注) 1. 2023年10月期は、2023年4月1日から2023年10月31日までの7ヶ月決算となっております。
 2. 決算期変更に伴い、2024年10月期(2023年11月1日から2024年10月31日)と2023年10月期(2023年4月1日から2023年10月31日)は期間が異なるため、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	16,375	4,177	25.5	142.71
2023年10月期	13,964	4,028	28.9	137.64

(参考) 自己資本 2024年10月期 4,177百万円 2023年10月期 4,028百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	3,137	△4,968	2,125	1,166
2023年10月期	△241	△3,819	3,800	871

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年10月期	—	0.00	—	1.00	1.00	29	29.7	0.7
2024年10月期	—	0.00	—	2.00	2.00	58	32.1	1.4
2025年10月期 (予想)	—	0.00	—	2.00	2.00		—	

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	19.9	220	—	80	—	65	400.0	2.22
通期	4,600	3.5	600	84.0	250	152.5	200	9.9	6.83

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期	29,489,890株	2023年10月期	29,489,890株
② 期末自己株式数	2024年10月期	218,920株	2023年10月期	218,871株
③ 期中平均株式数	2024年10月期	29,271,000株	2023年10月期	29,271,111株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年10月期の個別業績(2023年11月1日～2024年10月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	3,841	—	329	—	108	—	184	—
2023年10月期	1,476	—	△3	—	△102	—	78	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期	6.29	—
2023年10月期	2.69	—

- (注) 1. 2023年10月期は、2023年4月1日から2023年10月31日までの7ヶ月決算となっております。
 2. 決算期変更に伴い、2024年10月期(2023年11月1日から2024年10月31日)と2023年10月期(2023年4月1日から2023年10月31日)は期間が異なるため、対前期増減率は記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	16,391	4,193	25.6	143.26
2023年10月期	13,661	4,038	29.6	137.96

(参考) 自己資本 2024年10月期 4,193百万円 2023年10月期 4,038百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・将来に関する記述等についてのご注意

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 企業集団の状況	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

前連結会計年度である2023年10月期は決算期変更に伴い、2023年4月1日から2023年10月31日までの7ヶ月を対象とした変則決算となっております。このため、対前年同期比については期間が異なることから記載しておりません。

当連結会計年度（以下「当期」）における我が国経済は、日銀の金利政策変更、賃金の上昇、インバウンドの地方誘客や消費拡大などをはじめとして、日本経済が緩やかに拡大していく一方で、東欧、中近東における地政学的リスクを背景とした原材料・エネルギー価格の高騰、中国経済の減速など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内の金融・不動産市場におきましては、景気動向の影響を受けにくいことから不動産投資へのニーズは高く、稼働率、賃料水準、物件販売価格など安定した利回りを得られる投資への需要は底堅い状況が続いております。

このような経済状況のもと、当期の当社グループは、賃貸用不動産6物件の売却により売上・利益を確保する一方、中長期的な安定的収益力強化のため年間家賃収入10億円体制を維持しつつ、積極的に賃貸用不動産の取得を行い、都心のオフィスビルを含めた合計9物件（取得価格：5,371百万円）を取得いたしました。また、賃貸用不動産の取得・売却による安定的収益の強化に取り組みながら、成長性や社会性の高い企業やプロジェクトの発掘に努め、資本提携や業務提携により、投資会社としての将来性や収益性の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当期の当社グループの業績は売上高4,446百万円となりました。賃貸用不動産9物件の取得費用224百万円やその他経費を負担し、各段階利益については、営業利益326百万円、経常利益99百万円となりました。また、オペレーション事業（株式会社ケンテン）の株式譲渡により特別利益90百万円を計上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、182百万円となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

（マーチャント・バンキング事業）

マーチャントバンキング事業は、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当期は、賃貸用不動産9物件の取得により、当事業部門の収益の柱であります賃貸用不動産から安定的に得られる賃貸収入が増加し、更に賃貸用不動産6物件を売却した結果、売上高4,400百万円を確保し、不動産取得税等の取得経費224百万円の負担の上、セグメント利益は670百万円を確保いたしました。

（オペレーション事業）

オペレーション事業は、当社及び株式会社ケンテン（連結子会社）等において、ボウリング場及び服飾雑貨店の運営を行っておりましたが、2024年4月1日付で土岐グランドボウルのボウリング事業を譲渡し、同年4月30日付で連結子会社であった株式会社ケンテンの全株式を譲渡いたしました。また前期までホテルのオペレーション事業を行っていた株式会社ホテルシステム二十一（連結子会社）をMBKプロパティ株式会社に商号変更し、不動産管理運営事業を始めることから、マーチャント・バンキング事業となり、これに伴い、オペレーション事業から完全撤退いたしました。

そのため、同事業の業績は2023年11月1日から2024年4月30日までの6か月の業績となり、当期は売上高は46百万円、セグメント利益は0百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

当連結会計年度末（以下「当期末」）の総資産は、前期末と比較して2,410百万円増加して16,375百万円となりました。総資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少25百万、無形固定資産の減少175百万円、有形固定資産の増加1,545百万円、販売用不動産の増加719百万円、長期前払費用の増加142百万円であります。

(負債)

当期末の負債合計は、前期末と比較して2,262百万円増加して12,198百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金（1年内を含む）の増加2,145百万円、預り敷金・保証金(固)の増加33百万円、支払手形及び買掛金の減少9百万円であります。

(純資産)

当期末の純資産合計は、前期末と比較して148百万円増加し4,177百万円となりました。主な変動要因は、配当金の支払29百万円が親会社株主に帰属する当期純利益182百万円を下回ったことによる利益剰余金の増加148百万円であります。この結果、自己資本比率は25.5%（前連結会計年度末は28.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて295百万円増加し、当連結会計年度末には1,166百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3,137百万円の収入（前連結会計年度は241百万円の支出）となりました。

収支の主な内訳は、棚卸資産の減少額2,931百万円、長期前払費用の増加額142百万円、未払消費税等の増加額121百万円の計上などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは4,968百万円の支出（前連結会計年度は3,819百万円の支出）となりました。

収支の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出5,459百万円、定期預金の払戻による収入320百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入223百万円の計上などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,125百万円の収入（前連結会計年度は3,800百万円の支出）となりました。

収支の主な内訳は、長期借入れによる収入4,689百万円、長期借入金の返済による支出2,529百万円の計上などあります。

(4) 今後の見通し

次期(2025年10月期)の連結業績につきましては、米国の関税政策、ウクライナ・東南アジア情勢による資源価格の高騰、中国経済の低迷、国内の金利政策など先行きは不透明な状況が続くことが予想されます。

2025年10月期の当社グループ連結業績につきましては、売上高4,600百万円、営業利益600百万円、経常利益250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円を見込んでおります。

マーチャント・バンキング事業は、2025年10月期におきましても引き続き、賃貸用不動産の保有並びに売却による安定的な収益をベースに、社会性・成長性・収益性の高い案件への投資を展開する投資事業を強化してまいります。

また、2025年10月期におきまして、2024年12月13日現在、28物件を保有、目標としていた年間家賃収入10億円体制を構築し、物件の保有により、セグメント利益470百万円を見込むとともに、当期に引き続き、保有する賃貸用不動産の売却を積極的に行うことにより、売上高3,450百万円、セグメント利益390百万円を見込み、さらに投資案件の収入を見込み、マーチャント・バンキング事業におきましては、売上高は4,600百万円、セグメント利益は930百万円を見込んでおります。

(5) 企業集団の状況

当社グループは当社及び、MBKプロパティ株式会社、株式会社エストニアン・ジャパン・トレーディング・カンパニー・ホールディングス、Estonian Japan Trading Company AS、O' Pen Eesti OÜ、株式会社エストニアン・ジャパン・トレーディング・カンパニー日本の6社の事業会社で構成されており、これら6社を連結の範囲としております。

当社グループの主な事業内容は以下の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当事業部門は、主に当社が事業運営を担っており、日本企業、中国企業並びに不動産向けの投資事業を行っております。株式、不動産等の投資回収によるキャピタルゲインのほか、所有する不動産からの賃料収入が主な収益源となっております。

なお同事業であった娯楽TVメディア・コンテンツ株式会社（連結子会社）は、2024年9月17日付で全株式を譲渡。また同じく株式会社MBKハウスマネジメント（連結子会社）は、2024年3月15日に解散し、同年7月に清算終了いたしました。

オペレーション事業については、2024年4月1日付で土岐グランドボウルの事業を譲渡し、同年4月30日付で株式会社ケンテン（連結子会社）の全株式を譲渡いたしました。また前期までホテルのオペレーション事業を行っていた株式会社ホテルシステム二十一（連結子会社）をMBKプロパティ株式会社に商号変更し、不動産管理運営事業を始めることから、マーチャント・バンキング事業となり、これに伴い、オペレーション事業から完全撤退いたしました。

事業の系統図は、次の通りであります。

マーチャント・バンキング事業

マーチャント・バンカーズ株式会社

- ・国内不動産投資
 - 販売用不動産の売買
 - 収益不動産からの賃料収入
 - 不動産取引の仲介
- ・国内企業投資
 - 社会性、成長性、収益性の高い企業又は事業への投資
(医療・介護分野を含む)
- ・海外企業投資
 - 中国等へのエクイティ投資活動

MBK ASIA LIMITED

- ・海外展開に関するコンサルティング業務

株式会社エストニアン・ジャパン・トレーディング・カンパニー・ホールディングス

- ・エストニア共和国での事業展開に関する統括業務

株式会社エストニアン・ジャパン・トレーディング・カンパニー日本

- ・国内及び海外への不動産投資

Estonian Japan Trading Company AS

- ・エストニア共和国での事業展開に関する統括業務

O' Pen Eesti OÜ

- ・海外展開に関するコンサルティング業務

MBKプロパティ株式会社

- ・不動産管理運営業務



国内外の
金融・不動産市場

顧客・取引先

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準での連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,443	1,266,740
受取手形及び売掛金	4,077	8,687
営業投資有価証券	—	30,728
商品及び製品	3,228	—
仕掛品	5,300	—
原材料及び貯蔵品	1,001	—
未収入金	56,365	43,685
販売用不動産	—	719,882
その他	212,302	391,377
貸倒引当金	△58,692	△81,967
流動資産合計	1,516,027	2,379,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,029,072	6,950,162
土地	5,785,513	6,465,045
リース資産(純額)	26,016	29,502
その他(純額)	68,455	9,855
減損損失累計額	△108,400	△108,400
有形固定資産合計	11,800,656	13,346,164
無形固定資産		
著作権利用許諾使用料	174,844	—
その他	3,840	2,945
無形固定資産合計	178,685	2,945
投資その他の資産		
投資有価証券	33,743	69,161
出資金	10,400	10,400
敷金及び保証金	18,731	23,704
長期貸付金	34,495	28,106
長期前払費用	365,136	508,096
繰延税金資産	8,350	8,757
貸倒引当金	△1,650	△1,050
投資その他の資産合計	469,206	647,176
固定資産合計	12,448,548	13,996,286
資産合計	13,964,576	16,375,420

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,470	63
1年内返済予定の長期借入金	377,717	444,143
未払費用	15,351	19,235
株主優待引当金	—	39,326
その他	115,774	166,427
流動負債合計	518,313	669,196
固定負債		
長期借入金	9,306,704	11,386,154
長期預り敷金保証金	104,090	137,670
リース債務	2,547	4,800
繰延税金負債	183	333
その他	3,876	—
固定負債合計	9,417,402	11,528,958
負債合計	9,935,715	12,198,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,190,167	3,190,167
資本剰余金	811,577	811,577
利益剰余金	92,864	241,111
自己株式	△65,174	△65,188
株主資本合計	4,029,435	4,177,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416	△134
為替換算調整勘定	△990	△269
その他の包括利益累計額合計	△574	△404
非支配株主持分	—	—
純資産合計	4,028,861	4,177,264
負債純資産合計	13,964,576	16,375,420

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	1,538,273	4,446,741
売上原価	1,063,986	3,462,261
売上総利益	474,286	984,480
販売費及び一般管理費	487,522	658,104
営業利益又は営業損失(△)	△13,235	326,376
営業外収益		
受取利息	1,608	5,387
受取配当金	2,488	283
受取賃貸料	18,432	54,384
受取保険料	570	16,517
その他	1,305	30,828
営業外収益合計	24,406	107,400
営業外費用		
支払利息	85,457	222,885
支払手数料	6,421	36,823
貸倒引当金繰入額	968	12,975
株主優待引当金繰入額	—	39,326
その他	3,208	21,953
営業外費用合計	96,055	333,964
経常利益又は経常損失(△)	△84,885	99,812
特別利益		
投資有価証券売却益	193,235	519
固定資産売却益	—	751
関係会社株式売却益	—	90,516
特別利益合計	193,235	91,787
特別損失		
固定資産除却損	199	401
事業整理損	3,364	1,101
関係会社清算損	—	1,405
債権譲渡損	—	1,649
特別損失合計	3,564	4,556
税金等調整前当期純利益	104,785	187,043
法人税、住民税及び事業税	15,967	7,329
法人税等調整額	△9,714	△2,701
法人税等合計	6,252	4,627
当期純利益	98,533	182,415
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	98,533	182,415

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
当期純利益	98,533	182,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,132	△550
為替換算調整勘定	662	720
その他の包括利益合計	△1,470	170
包括利益	97,063	182,585
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	97,063	182,585
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,190,167	811,577	△5,668	△65,127	3,930,949
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	98,533	—	98,533
自己株式の取得	—	—	—	△47	△47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	98,533	△47	98,486
当期末残高	3,190,167	811,577	92,864	△65,174	4,029,435

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,548	△1,653	895	—	3,931,845
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	98,533
自己株式の取得	—	—	—	—	△47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,132	662	△1,470	—	△1,470
当期変動額合計	△2,132	662	△1,470	—	97,015
当期末残高	416	△990	△574	—	4,028,861

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,190,167	811,577	92,864	△65,174	4,029,435
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	182,415	—	182,415
連結範囲の変動	—	—	△4,897	—	△4,897
自己株式の取得	—	—	—	△13	△13
剰余金の配当	—	—	△29,270	—	△29,270
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	148,246	△13	148,233
当期末残高	3,190,167	811,577	241,111	△65,188	4,177,668

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	416	△990	△574	—	4,028,861
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	182,415
連結範囲の変動	—	—	—	—	△4,897
自己株式の取得	—	—	—	—	△13
剰余金の配当	—	—	—	—	△29,270
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△550	720	170	—	170
当期変動額合計	△550	720	170	—	148,403
当期末残高	△134	△269	△404	—	4,177,264

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	104,785	187,043
減価償却費	147,163	291,457
債権譲渡損	—	1,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	968	22,675
事業整理損	3,364	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△193,235	—
受取利息及び受取配当金	△4,097	△5,670
支払利息	85,457	222,885
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	39,326
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△90,516
売上債権の増減額(△は増加)	83,505	△7,598
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,696	2,931,354
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	30,000	△29,444
未収入金の増減額(△は増加)	△24,473	12,680
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,551	△8,480
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△27,973	△54,526
未払消費税等の増減額(△は減少)	△141,773	121,168
未収消費税等の増減額(△は増加)	28,108	11,781
営業貸付金の増減額(△は増加)	437	—
長期前払費用の増減額(△は増加)	△223,028	△142,959
前渡金の増減額(△は増加)	9,927	△94,927
その他	△1,361	△32,410
小計	△149,473	3,375,487
利息及び配当金の受取額	4,121	5,567
利息の支払額	△87,576	△224,735
法人税等の還付額	0	—
法人税等の支払額	△8,956	△18,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	△241,884	3,137,436

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△42,287
投資有価証券の売却による収入	247,863	6,319
有形固定資産の取得による支出	△4,803,229	△5,459,849
有形固定資産の売却による収入	721,045	3,639
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	223,921
短期貸付けによる支出	—	△136,500
短期貸付金の回収による収入	—	115,000
長期貸付けによる支出	△4,000	△3,705
長期貸付金の回収による収入	11,163	9,377
定期預金の預入による支出	△101,750	—
定期預金の払戻による収入	100,000	320,703
出資金の払込による支出	△9,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△227	△5,200
敷金及び保証金の回収による収入	18,293	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,819,840	△4,968,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,466,000	4,689,000
長期借入金の返済による支出	△664,155	△2,529,307
リース債務の返済による支出	—	△4,454
配当金の支払額	△12	△29,348
自己株式の取得による支出	△47	—
その他	△1,752	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,800,032	2,125,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△261,692	295,001
現金及び現金同等物の期首残高	1,133,431	871,739
現金及び現金同等物の期末残高	871,739	1,166,740

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取保険料」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた1,876千円は、「受取保険料」570千円、「その他」1,305千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社代表取締役社長が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、主に当社が営んでいる、国内外の企業・不動産向け投資事業等を営む「マーチャント・バンキング事業」、ボウリング場及び服飾雑貨店の運営・管理等を営む「オペレーション事業」の2事業から構成されております。

また、当社では、効率的なグループ経営及び事業間のシナジーの最大化を目指して、グループで営むこれら2事業を統括しております。

一方で、これら2事業は、成長戦略、経営管理の手法、並びに人材等の求められる経営資源などが大きく異なっているため、具体的な経営戦略の立案・実行及び採算の管理等について、それぞれ独立した経営単位として、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、マーチャント・バンキング事業とオペレーション事業、2つの主要な事業を、報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	連結財務諸表 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,460,060	78,212	1,538,273	—	1,538,273
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	1,460,060	78,212	1,538,273	—	1,538,273
セグメント利益又は損失 (△)	182,077	294	182,372	△195,608	△13,235
セグメント資産	11,860,308	405,499	12,265,807	1,698,768	13,964,576
その他の項目					
減価償却費	145,862	768	146,630	605	147,235
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,907,800	2,254	4,910,054	—	4,910,054

(注) 1 調整額は、以下の通りになります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△195,608千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引であり、主に一般管理費によりなっております。
 - (2) セグメント資産の調整額1,698,768千円は、主に提出会社での余資運用資金1,198,751千円、長期前払費用328,641千円、前払費用83,822千円となっております。
 - (3) 減価償却費の調整額605千円は、管理部門に属する資産の減価償却費になります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	連結財務諸表 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,400,497	46,244	4,446,741	—	4,446,741
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	4,400,497	46,244	4,446,741	—	4,446,741
セグメント利益	670,074	60	670,134	△343,758	326,376
セグメント資産	14,797,956	87,034	14,884,991	1,490,429	16,375,420
その他の項目					
減価償却費	346,051	139	346,190	611	346,802
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,405,914	—	5,405,914	630	5,406,544

(注) 1 調整額は、以下の通りになります。

- (1) セグメント利益の調整額△343,758千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引であり、主に一般管理費によりなっております。
 - (2) セグメント資産の調整額1,490,429千円は、主に提出会社での余資運用資金1,064,346千円、長期前払費用484,475千円、前払費用142,832千円となっております。
 - (3) 減価償却費の調整額611千円は、管理部門に属する資産の減価償却費になります。
 - (4) オペレーション事業は、2024年4月1日付で土岐グランドボウルの事業譲渡。また同年4月30日付で子会社であった株式会社ケンテンの全株式を譲渡し、同年5月13日付で前期までホテルのオペレーション事業を行っていた株式会社ホテルシステム二十一をMBKプロパティ株式会社に商号変更し、不動産管理運営事業を始めることからオペレーション事業から完全撤退となり、その時点までの業績を表示しております。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」をご参照ください。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

有形固定資産は本邦に所在しているもののみであり、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (単位：千円)	関連するセグメント名
株式会社エイドグループ	529,644	マーチャント・バンキング事業
株式会社ファーストコード	399,779	マーチャント・バンキング事業

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」をご参照ください。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

有形固定資産は本邦に所在しているもののみであり、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (単位：千円)	関連するセグメント名
京阪電鉄不動産株式会社	1,224,430	マーチャント・バンキング事業
株式会社サンレジデンシャル	613,457	マーチャント・バンキング事業
株式会社shinコーポレーション	588,223	マーチャント・バンキング事業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)		当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	
1株当たり純資産額	137円64銭	1株当たり純資産額	142円71銭
1株当たり当期純利益金額	3円37銭	1株当たり当期純利益金額	6円23銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	98,533	182,415
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	98,533	182,415
普通株式の期中平均株式数(千株)	29,271	29,271

(重要な後発事象)

該当事項はありません。